



令和7年度10月号 令和7年10月1日

# 上原だより

渋谷区立上原小学校  
校長 佐伯 孝司

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1310240>

他者とかかわり、学びの深まりをめざす

副校長 西村 綾乃

今年の夏は、WBGT が 30 を超える危険な暑さが続き、例年では「天気の良い日は外遊びをしよう」との声掛けをしていた 9 月になっても、なかなか外に出て運動する機会に恵まれませんでした。地球の環境が変化してきているということ、身をもって感じる夏となりました。

10月を迎え、過ごしやすい季節となり、子供たちの学習も一層深まっています。



シブヤ未来科に取り組み始めて2年目となりました。子供たちは、自分たちで課題を決め、試行錯誤を繰り返しながら、ゴールに向けて学びを進められていると実感しているようです。「令和7年度全国学力・学習状況調査」の、「児童質問」の結果からもその様子が伺えました。(一部紹介)「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の問いには約91%(都84%)の児童が、「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」の問いには97%(都91%)の児童が、「分からないことやくわしく

知りたいことがあったときに、自分で学びを考え、工夫することはできていますか」の回答に約94%(都82%)の児童が肯定的な回答をしていました。この数値からも、児童が協働的な学びと、探究的な学びに取り組んでいると自覚している様子が感じられます。各学年の子供たちの学びとその経過につきましては、11月15日(土)に本校で行われる「シブヤ未来科発表会」でご覧いただきたいと思います。多くの皆様の参観をお待ちしております。

## <5年生の学習から>

6年生のキャリア教育でお話ししていただいた企業「DAMBO」さんの企業理念と、5年生の環境問題への取組が一致し、5年生のシブヤ未来科で関わっていただくことになりました。絶滅危惧種をモチーフに再生素材段ボールでの製品開発を行っています。様々な分野のスペシャリストに意見をいただきながら、自分たちの考える作品作りに取り組んでいます。試作を重ね、どうやって強度を出すか、どんなデザインが良いか等話し合いながら決めていきます。各グループが企画した作品をコンペによって絞り、選ばれたものを製品化していきます。これらの活動については、11月に

行われる「シブヤ未来科発表会」でお伝えします。



## <6年生の学習から>

キャリア教育で「UNIQLO」の方から、「届けよう、服のチカラプロジェクト」について聞いたことを契機に、子供たちが主体となり社会貢献の一環として、難民に服を送る活動を始めました。古着を集めるための回収ボックス設置は学校周辺の施設にお願いしました。各施設に子供たちが足を運び、お願いの呼びかけを行いました。幼稚園・保育園、社教館、近隣駅、ネウボラなど13の施設にご協力をいただき回収しています。子供たちの呼びかけに賛同し、様々な方から反響をいただきました。難民に送るうえで、戦争を思い起こさせるような柄はご遠慮いただきたいなど、目的と意義をしっかりと捉えて呼びかけ、取り組んでいます。

